

樹 姉 ば よ う

No.157
2017.11



慈悲喜捨

桐生市では、毎年十一月十九日、二十日に、西宮神社を本拠として「ゑびす講」が行われます。桐生市の西宮神社は、明治三十四年に兵庫県の西宮市「ゑびす宮総本社西宮本社」から分霊された、由緒ある神社です。県内有数の古社として知られている美和神社には、大国主命（おおくにぬしのみこと）が祀（まつ）られています。大国主命は、江戸時代に大黒さまと呼ばれるようになりました。桐生西宮神社のゑびす講は、恵比須と大黒の二神が祀られ、他に類のない福德財宝の神として知られています。ゑびす神は全国各地の神社に存在しますが、そのほとんどが、事代主命（ことしろぬしのみこと）、または大国主命を祀っています。ゑびす神と言われる、福の神・蛭子大神（ひるこのおおかみ）の分霊を祀る神社は、関東地方では桐生西宮神社だけなので、「関東一社」という称号を持っているという事です。桐生西宮神社では、神事の際に本社直系の祭儀が行われ、今でも、西宮本社より宮司や神職が列席されています。また、兵庫県の西宮本社では、厳粛に祈禱（きと）と

う）された御札や、御神影札（二神の姿）を頒布（はんぷ）していますが、桐生西宮神社でも同様に頒布されています。それも、関東一社の冠を持つ証であり、桐生市のゑびす講は、関東一の賑わいがあると言われています。

桐生市の先人が、関東一社にこだわった背景には、養蚕から織物まで、すべての織物関係の仕事に就いている人の創意工夫や技術向上を、福の神やゑびす信仰に結びつけて発展させようとした、強い願いがあります。高級絹織物の生産性の向上や、織都桐生の存在、桐生の人々が持つ本格好みを先取りした先人の知恵と心意気は、市内へ鉄道を四線引き入れたことや、桐生八木節祭りなどにも現れています。

このような、由緒ある街に樹徳高校があります。創立百周年にあたってリニューアルした女子制服は「伝統と新生」がテーマです。それは、不易流行（いふぎりやう）いつまでも変わらぬもの、と時代に沿って変わっていくもの（変）であり、ジャケットは「蘭色」に合わせています。

今があることに感謝し、先人に学び、樹徳高校の更なる発展のため皆で努めていきましよう。

護美を拾う人

明照学園理事長
野口 秀樹



体育祭、合唱コンクールも無事に終了しました。

体育祭は、男子三年S組、女子二年J2組がそれぞれ圧倒的な強さで優勝しました。共学になった1年生の入場行進も見事でした。合唱コンクールは二年三年SS合同チームが優勝、上位三チームは全て一点差、まれに見る接戦でありました。一年生の混声合唱は一貫校四年二組が優勝、初めての男子の太い声が会場に響いた、これも大変魅力的でありました。

樹徳十月の法語は「伝統は革新の連続である」でした。これは、室町時代の後期に京都で創

業した和菓子の老舗「とらや」の現社長が使われていた言葉です。

この言葉通りの本校の学校行事、少しずつではありますが、前へ前へと向かって変化しております。

さて十一月に入りました。今月は、読書や学習、知的好奇心を刺激する月にしていきたいと考えています。

先日、高等学校後援会の研修旅行が行われ、東京へ行って参りました。浅草を歩いていると、鼻紙が落ちていたのです。

すると、一緒にいた後援会の方がそれを拾いました。たまたま近くにあったゴミ箱にそっと入れたのです。とってつけた様

でなく、実に自然な姿でありました。三十分歩くうちに、二度ほどそんな行為がありました。その方は私よりも年下、でも彼は素晴らしい人間でありました。

彼を見てこの話を思い出しました。

ドイツの王様が、だれも見えない夜中を見計らって、町の真ん中に大きな石を置きました。翌朝、酔っぱらいの軍人が、その石につまづいて、倒れて頭を打ちました。「こんな所に石を置きがって！」と怒鳴りました。

しばらくして、馬で出かけた紳士が、大石に突き当たろうとしましたが、間一髪、立ち止まる

ことができたのです。この紳士も「こんな所に誰が石を置いたのだ！」と怒りました。

次には農夫が荷車を引いて通りましたが、荷車を進めることができない。「こんな迷惑な事があっていいのか!」。時間をかけてどうにか通り過ぎることができました。

皆ここを通る者は必ず不平不満を言いました。が、誰ひとりとして、この石を取り除く者はいませんでした。

と、誰も皆のために取り除こうとしなかったこと説明し、皆の前で石を片付け始めたのです。するとその下に「この石を片付けた者に与える」と記した袋がありました。そしてその中に宝石と金貨二十枚が入っていたのでした。

最後の金貨二十枚はともかく、私の中にも同様に、不平不満を言って通りすぎていく私がいるような気が致します。

浅草を一緒に歩いてゴミを拾った彼がこの場面に出くわしたら、皆に声をかけ石の移動を手がけた可能性があります。

世の中を良くして行く核になる人は彼のような人でありましょう。

アメリカの心理学者チャールズ・オズグッドの書いた「四人の人の物語」(Everybody, Somebody, Anybody & Nobody)の詩があります。「みんな」「だれか」「だれでも」「だれも」という名前の四人です。

皆でやらなければならぬ重要な仕事があった。

誰かがきつとやるだろうと皆が思った。

誰でもできたのに誰もやらなかった

みんなの仕事なのにと誰かが腹を立てた

誰でもやれることだと皆が思った。

しかし、誰もやらないだろうとは誰も気が付かなかった。

誰かに頼んだ人は誰もいなかったのに、

あとは皆が誰かのせいにした

樹徳は、気がついたら行動できる集団になっていきたいと常々思っております。

合掌



幸せのそよ風とは 笑顔です

失敗から学ぶ

樹徳高校の教員となつて半年が過ぎました。樹徳高校という新しい環境、馴染みのない桐生という土地、学生から社会人への転換。新しいことが一気に押し寄せてくるなかで、目まぐるしい日々を過ごしています。一方、昔からの夢でもあった教師という職に就くことができ、楽しく充実した毎日を送ることができています。

毎日生徒と接していると、よく自分の高校時代を思い出します。私にとって、教師という職業は、昔からの夢でした。教員免許を取得するため、そして高校時代に好きになった物理学をより深く学ぶために、大学に進学しました。しかし、大学受験は想像以上に過酷なものでした。高校ではラグビー部に入部したため、毎日、日が暮れるまで練習が行われました。通学には

電車と自転車片道一時間かかっていたので、帰るのは毎日、夜八時過ぎがあたりまえでした。進学校でもあったので、授業の予習や復習、宿題も欠かすことができません。自宅での自由時間はほとんどありませんでした。それでもコツコツ勉強を続けていった結果、高校入学後の最初の定期試験では、学年でトップ10に入ることができました。一年生の前期（母校は前後期の二学期制でした）では学年一位をとることができました。しかし今でも後悔しているのは、トップをとれたことに満足し、気を緩めてしまったことです。授業の予習や復習を怠り、自宅ではゲームやパソコンをいじる時間が長くなつてしまったのです。当然成績は下がっていき、じきにトップ10にも入れなくなりました。全国模試でも、思うように問題が解けなくなり、第一志望の大学はずっとE

判定でした。二年が終わる頃、さすがに危機感を感じ、本格的な受験勉強を始めました。まず、受験勉強をするための環境作りです。当時、私にとって必要不可欠であったパソコンを、別の部屋に移動させ、やっていったゲームはすべて禁止にしました。睡眠時間は六時間と決め、徹夜でならなら勉強することは一切しませんでした。参考書を何冊も買うことはせず、教科書を中心に学習を進めました。総体後、部活を引退し、勉強の時間も増え、三年の夏休みの全国模試ではC判定をとることができました。そして何とか第一志望の大学に合格することができたのです。合格を目にした瞬間の感動は、今でも鮮明に覚えています。

私は今年度、二年生男子部の副担任になりました。群馬県内の男子校出身の自分にとって、男子クラスの生徒や雰囲気は懐かしう感じ、母校に帰れたような気分です。私の母校では、三つの四字熟語が校訓でした。一つめは「文武両道」、勉強も部活もどちらも一生懸命に取り組むというこ

と。二つめは「自主自立」、自発的に自分自身で考えて行動するということ。この二つは、一般的によく耳にする四字熟語だと思います。三つめは「質実剛健」。日常では、あまり使われない四字熟語ですが、中身が充実して飾り気がなく、心身ともに強くたくましいさま、という意味で使われます。この「質実剛健」が、樹徳高校のみなさんには必要なことではないでしょうか。日々の生活をなんとか過越し、からっぽな毎日を過ごしていませんか？勉強が難しいからといって、すぐにあきらめていませんか？部活で壁にぶつ

かったまま、あきらめていませんか？生徒と話しをしながら、「あいつはもともと勉強ができるから」などと言って、自分ができないことを正当化しているのをよく耳にします。初めからなんでもできるような、いわゆる天才なんて、めったにいません。差があるとしたら、それは、努力しているかしていないかの差です。努力を積み重ねていき、日々の生活の中で、心身ともに強くたくましくなってください。そして後悔のない進路実現ができることを願っています。

（理科科 丹羽良之）



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■樹徳コミュニティセンター「み法」 11月の行事予定

- (1) ラタンアート工房「桐生籐工芸」
主催 野村ナナ子さん 2, 16日(木)
- (2) 七草ゼミナール塾
主催 上野文雄さん 16日(木)
- (3) 販売実習 12日(日)、25日(土)
 - ①「相田みつを美術館」取扱い商品
 - ②「星野富弘美術館」取扱い商品

人 体育祭特集 人

2年ぶりに行われた体育祭。

100年を超えて、また、共学化して初めての体育祭となりました。

在校生にとっても、高校生として初めての体育祭、天候にも恵まれ、

精一杯楽しんでいました。その様子を写真にて報告いたします。





以和為貴リレー（男子）

先生方も大活躍



重い荷物を片手に走りきる
宅配便リレー



ばんば
人間鞍馬リレー

力強さとスタミナが勝敗を分ける



計算競争リレー

大そろばんをバトン代わりに



1, 2年生が息を合わせて
女子ダンス



応援の様子

クラス・男女分け隔てなく楽しく応援

体育祭 結果

◆男子競技 優勝

- 3年 S 組
- 準優勝
- 3年 K2 組
- 第三位
- 2年 S 組

◆女子競技 優勝

- 2年 j 2 組
- 準優勝
- 2年 ss・k 組
- 準優勝
- 1年 J5・J6 組



入場行進結果

最優秀

2年 ss・k 組

優秀

1年 K2 組

2年 SS・K 組

一貫校

中学校

だより

◆交換留学生来日

オーストラリアから

九月一六日〜三〇日まで、明照学園の姉妹校であるオーストラリア、レッドランズ高校から、留学生 Matthew Nastase（マシュー・ナスターゼ）君、通称「マット」君が来日して、樹徳中学校で樹徳生と共に学園生活を楽しく送りました。マット君は中学校三年二組のクラスメイトと共に、授業を受けて勉強したり、お弁当と一緒に食べたりしました。



それからマット君は、三年生の友人から日本文化紹介を受けたたり、中学二年生と家庭科の授業で和食調理実習を行ったりしました。樹徳高校では書道体験などを行いました。また、樹徳幼稚園を訪問したり、桐生市内観光も行いました。様々な体験を通して充実した留学ができたようでした。

来年は、交換留学生として明照学園の生徒がオーストラリアに留学をすることになっています。

◆英語弁論大会

県大会第二位

十月五日（木）、群馬県中学校英語弁論大会が行われました。樹徳中学校三年、粉山沙輝さんは、校内大会、桐生市大会を勝ち抜き、県大会に出場しました。結果は堂々の第三位でした。内容は自分が海外で受けた差別的な体験をもとに、差別とテロのない世界を目指すといった内容で、発音・表現力も素晴らしいものでした。

◆薬物乱用防止教室

◆保健教育講演会

十月三日（火）樹徳中学校講堂にて「薬物乱用防止教室」として講演会が行われました。最初にDVDで、薬物依存症になった方や薬物依存症の若者に接してきた「夜回り先生」のインタビューなどを観た後、「薬物依存からの回復」という

十月四日（水）、樹徳中学校講堂にて、講師大川匡子先生をお迎えして、「睡眠」についてのお話をうかがいました。「睡眠」について科学的にお話をされ、睡眠不足は、集中力・記憶力の低下に繋がることや、太りやすく病気に陥りやすいということなどが、よく分かりました。質の良い

睡眠のための具体策として、運動をする、ぬるめの湯船につかる、体内時計を調節するために朝日を浴びる、朝食を食べるなど、今日から実践できる方法を教えて下さり、大変ためになる講演でした。

【生徒の感想】

二年一組 大須賀望緒
今日、睡眠についてのお話を聞きました。最近、睡眠不足なので、よく寝られるようになるといういいなあ、と思い聞きました。睡眠の役割や、不足するとどうなるかなど、睡眠についてたくさん知ることができました。調査結果から、よく寝る人は成績も良いということを知らりました。だから、テスト前日は夜遅くまで勉強するより早く寝た方が効率が良いのかな、と思いました。確かに、よく寝た日は、頭がすっきりしていた感じがします。睡眠が不足すると、イライラしやすいことになり、共感できました。

樹徳中高一貫教育

樹徳中学校
第1期入学試験
11/11（土）
国語・算数・面接

出願期間
10/30（月）～11/7（火）
土日祝日を除く

お問い合わせ
Tel 0277-45-2257



た。眠くて集中力も保てないのです。やはり睡眠は大事だと思いました。睡眠時間のグラフで、日本人の睡眠時間が他の国と比べてはるかに少ないことに驚きました。

幼稚園だより

「運動会・親子遠足を終えて」

北国からは雪の便りが届き、少しずつ冬の足音が聞こえてくる十一月を迎えました。

子どもたちは、十月には運動会で成長した姿を発表し、その自信とともに、充実した園生活を送っていました。

また、親子遠足では、おかあさんやおとうさんと、楽しい一日を過ごしました。いよいよ実りの秋本番。充実した二学期にと、職員一同張り切っています。

「運動会を終えて」

今年の運動会は、雨に降られて日曜日（八日）に順延されましたが、秋晴の好天に恵まれて、最高のグラウンドコンディションの中で、練習の成果を十分に発揮することができました。



運動会「組み立て体操」

昨年までは午後まで実施しましたが、今年は午後の部をなくし、お昼までとしました。

初めての参加となった年少さんから、幼稚園では最後の運動会となる年長さんまでが、リズム遊戯やかっこいい綱引きやリレーに全力を出し切って頑張りました。先生方も子どもたちと一緒に頑張って、力一杯思い切り頑張った運動会は、満足感とともに、大きな仕事を成し遂げたことで、大きな自信となり、成長の

きっかけができたことと思います。この成長を確実にするために、一層の支援をしていきたいと思っています。保護者（ご家族）の皆様、来賓はじめ関係皆様のご声援とご協力に、心より感謝申し上げます。

「楽しかった親子遠足」

十月二十日（金）、親子遠足で「群馬サファリ」に行ってきました。午前中は小雨が降りましたが、予定通り実施することができました。行く前から子どもたちは、野生のまま生活する動物たちを見ることができるとサファリゾーンや、シカやラムなどにえさをやりたり、ウサギを抱っこできるウォーキングサファリゾーンを、楽しみにしていました。が、テレビや図鑑では伝わらないナマの迫力に五感を働かせて、大興奮でした。バスに近づくトラやライオン、クマなどを目の当たりにしたり、えさをあげた体験は、一生忘れない知識、思い出として残ることと思います。

保護者の皆様には大変お世話になりました。ご協力ありがとうございました。



バスに近づくライオン

「一粒が積み重なれば」

山のように積もる仕事は多くとも、一年分の仕事を一日で片付ける能力もないし、また、その必要もない。人はただ、その日その日の仕事を勤めあげることである。一日の仕事は百年後の基礎をつくることにもなれば、将来、万石にもなるのである。今日一日の大切さを知るべきだ。

今日を限り今日を限りの命ぞと 思ひて今日の勤めをばせよ

さしあたる事より外を思ふなよ 是れを思ひの位とは云ふ

（一日一言より）

あれもこれもと、行事や諸課題を抱えて気の焦る毎日。仕事を先送りしている現実、能力不足を痛感していますが、その日その日の仕事をやり遂げ、「一粒が積み上げられるよう」今日一日を大切に、気を引き締めて努力していきたいと思っています。

新制度への移行、園児募集等におきまして、関係者皆様のご支援ご協力よろしくお願いいたします。

園長 瀬谷 茂

●幼児教育は、未来を生きる力の基礎を育成する樹徳幼稚園で！職員一同お待ちしております。

「入園願書受付中」
●三年度認定子ども園へ移行予定！二歳から入園できます。

○募集人員

- ・二歳児 一〇名
- ・満三才 一〇名
- ・三歳児 三〇名
- ・四・五歳児各一〇名

※入園願書は直接ご来園くださるか、お電話にて問い合わせください。

問い合わせは樹徳幼稚園まで。

〇二七五—五二二—五五五—
<http://www.jutoku.ed.jp/kinder>

11月(正定)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	水		第1期入試願書受付(～11/7)	英語(全) 文字・数(年長)
2	木	授業料納入日		避難訓練(火災) 保育料納入日 体育(全) 文字・数(年中)
3	金	文化の日 月影杯(卓球・柔道)	文化の日 月影杯(卓球・柔道)	文化の日 きものの日児童画展表彰式
4	土	県高校総合文化祭開会式		
5	日	月影杯(剣道) 英語検定②二次	月影杯(剣道)	
6	月	朝礼		実習生受入(1名) リズム(全) 線(年少)
7	火			さつまいも掘り(園の畑)
8	水			英語(全) 文字・数(年長)
9	木			東部地区研究委員会 体育(全) 文字・数(年中)
10	金	県高P連指導者研究集会 漢字検定②-2	漢字検定②	お誕生会(10月・11月生まれ)
11	土	SS組入試説明会 1・2年河合塾全統模試③ 1・2年学研模試(補習者対象)	中学校第一期入学試験	
12	日	ペン字検定②		中央RCさつまいも掘り(希望者) よい歯の(幼・保)表彰式
13	月	LHR 修学旅行事前指導①(1～2時限)		リズム(全) 線(年少)
14	火			焼き芋会
15	水	交通安全マナーアップ運動③ マイトリー基金抛金日	交通安全マナーアップ運動	七五三祝い お茶のお稽古⑤(年長) 吾妻公園チューリップの球根植え(年少々～年長)
16	木	期末試験(～21日)	3年カナダ語学研修(～22日) 高校期末試験(～21日)	体育(全) 文字・数(年中)
17	金			年中保護者園内清掃
18	土			
19	日	日商簿記検定②		
20	月			読み聞かせ(西山先生) リズム(全) 線(年少)
21	火	修学旅行事前指導 私学振興全国大会		
22	水	制服アフターサービス		設置者・園長研修会① 英語(全) 文字・数(年長)
23	木	勤労感謝の日		
24	金	関東地区高等学校進路指導研究大会「群馬大会」 修学旅行直前指導	3年振替休日	
25	土	3年河合塾センタープレ(～26日)		
26	日	全商ビジネス文書実務検定②		
27	月	LHR 2年修学旅行(～12/1) 3年SSKs組三者面談(～12/1)	5年生修学旅行(～12/2) 早朝自主学習(～12/1) 第二期入試願書受付(～12/5)	実習生受入(2名) リズム(全) 線(年少)
28	火			
29	水			英語(全) 文字・数(年長)
30	木	出欠統計提出		体育(全) 文字・数(年中)

※1日は校内安全点検日です



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

Web www.jutoku.ed.jp Mail office@po.jutoku.ed.jp

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

発行責任者 野口秀樹
印刷所 太陽印刷工業株

夢は大きく 根はふかく